

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272300740		
法人名	有限会社メープルの里		
事業所名	グループホームメープルの里ときわ		
所在地 (電話番号)	〒038-1214 青森県南津軽郡藤崎町常盤字三西田 8 - 8 (電話) 0172-65-2228		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 6月 26日	評価確定日	平成 20年 8月 5日

## 【情報提供票より】(平成 20年 6月 10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 8月 14日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算	16人

### (2) 建物概要

建物構造	木造2階建て 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	冬期3,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	150 円	昼食 250 円
	夕食	300 円	おやつ 円
または1日当たり 700 円			

### (4) 利用者の概要( 6月 10日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	1 名
年齢 平均	86.1 歳	最低	70 歳
		最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ときわ会病院、青森浪岡病院、赤川斉藤歯科医院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

窓からは田園や地域の建物が一望でき、また施設内は木のぬくもりが感じられ温かみのある建物である。食事の準備や後片付け、畑作りなど利用者の能力に応じて役割を持たせ一緒に職員が行ない、共に支えあいながら生活している場面が多く見られた。利用者は生活の中で生き生きとした表情が見られとても居心地の良い家庭的な雰囲気の中で生活されている。また、全職員が理念を共有し合い理念を基に、より良いサービスを提供できるように勉強会や研修等を通じて努力している姿勢が感じられた。
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画や個人ケースの書類の整理も改善されており、また全職員が一丸となって、身体拘束や権利擁護などの勉強会を開いたり、外部研修にも参加され努力されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組み、改善項目に関しても全職員で検討しサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催され、町内会、家族の代表、市の職員等が参加している。会議の内容は申し送り時や会議の場で話されたり、議事録もあり全職員が周知されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	面会時や電話などで意見や要望を聞きだすようにしている。また、玄関には意見箱が設置されており、意見や要望があった際は会議の場で話し合いを行っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議での交流以外にも地域の行事、地域活動にも積極的に参加されている。また近隣の子供たちも自由に遊びに来たりと交流は図られている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者及び職員は地域密着型サービスの内容について理解しており、朝礼において唱え基本理念を周知し意識を高めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本的理念は管理者、職員に周知され、日々の生活の中で職員は意識して援助されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会や総会、地域の行事等にも参加され、夏祭りなどでは出店など一緒に行い地域活動に積極的に参加されている。又近隣の子供達が自由に遊びに来れる環境にある。		地域において今後、職員が認知症などの理解を得る為の活動をされる事を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の目的、意義を理解されており自己評価は全職員で取り組んでいる。改善項目に関しては検討され実践できる体制にある。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月1回定期的に開催され記録なども整理されている。会議の結果は職員が確認出来、サービスの質の向上に活用されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所内などで解決困難な事例などはその都度、市長村担当者と連絡を密にして解決に向け相談し、サービスの質の向上に努め支援されている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護などに関しては研修参加、事業所内では勉強会なども開催され職員の資質向上に努めている。又入居者の中でも利用者があり、理解は更に深まっている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者が日々の援助場面においてその都度声がけをしている。又勉強会などを開催し職員の理解を深めたり、資質向上に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に家族に説明し同意を得て契約をしている。家族、本人の意向に沿うよう配慮している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族に月1回、個別に利用者の状況をお便りしており、状況に応じては電話などで近況報告している。また月毎の請求書等も確認の為同封し、面会時には説明など行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議では家族の参加もあり活発な意見が出されている。面会時には職員が家族に声かけをし、意見を汲み取る様に心がけている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動、離職などに関しては利用者の精神状況などに配慮し、利用者から聞かれれば答える程度としてダメージを最小限にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加は希望のもとで行っている。研修後は事業所内でも勉強会を開催し資質の向上、日々の介護の中でも取り入れ実践されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員個人では研修会等で他者職員との話す機会はあるが、合併し市になってからは事業所も多くなり他事業者との連携が取り難い状況にある。		他事業者との交流が図れる様、地域の団体活動への参加の中で同業者等へ働きかけるなどして連携が取れる環境づくりを期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の生活歴、日々のコミュニケーション、家族の協力を得ながら本人の趣味や意向などを把握し、工夫したサービス提供がされている。また入居前には一度来て頂いたり、安心してサービスが利用できるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共に感出来る様に努めており、共に生活している関係が構築されている。又利用者にあわせた役割などを持たせ、一緒に行い笑顔も自然に見られる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中の行動、言動など観察し今後の生活に対して意向確認している。困難な状況にあるときは話しあい、意向を引きだせる様支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人本位のサービスが計画されている。計画作成にあたり関係者、家族の意向なども確認している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画作成後は3ヶ月に1回定期的に見直しされており、また状況の変化に応じては担当者会議を開催し、計画作成され実践されている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	住居環境では畳の空間もあり、家族の面会時、入居者がくつろげる場となっている。又経営者が温泉施設など行っているので年数回入浴にも出かけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や利用者と話し合い、可能な限り以前から通院されている病院へ受診できるよう援助されている。近隣には病院があり状況に応じ連携が取れるよう支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今後重度化や終末期に対しては安心して暮らせる様、家族、医療関係者との連携は更に密にしていく必要がある事を理解されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法、秘密保持の理解に努めている。利用者に対しては尊厳を傷つけない様声がけなど配慮されている。日々の生活の中でさりげなく、プライバシーに気をつけ支援を行っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向確認しながら日々の生活を支援している。近隣は田園風景が続きのどかな雰囲気の中で自由に散歩したり、買物などに出かけたり、利用者の希望にそった援助をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の能力に応じた役割を持たせ意欲的に食事の準備を行ったり、後片付けの場面では職員と一緒に行動など生活の中で生き生きとした表情がみられた。食事中も会話がさりげなく出ており、楽しみながら食事をしていた。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴と決まっているが、利用者さんの状況の応じシャワー浴、足浴、清拭などは支援している。</p>		
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴は把握され野菜作り、買物など一緒に行っている。個々の能力や意欲を引き出しながら生活の中で支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日のように近隣へ散歩に行ったり、外出機会を設けている。又年間計画以外でも希望があればその都度でかけられる体制で支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険法指定基準における禁止行為についての勉強会など開催され、職員へ周知する事で共通認識を持っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全対策の為、夜間は鍵を掛けるが日中は掛けない状況にあり職員も周知してる。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練行っている。地域の住民、町内会の協力も得て、緊急装置取り付けも行っており緊急時に備えての体制作りもされている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表は近隣の病院の管理栄養士に確認しバランスの取れた食事が提供出来る様支援している。又毎日の摂取量なども確認され健康管理されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症各種のマニュアルや職員が共有出来る様な体制作りがされ、勉強会も開催し職員の資質向上に努めている。インフルエンザなど予防接種もされ感染対策も行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は利用者が四季を感じられるよう装飾され、ソファ等使いやすい様設置されている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族等の希望により使い慣れたたんす、椅子、飾りものなど持ち込まれ個性ある居室となっている。状況に応じ柔軟な対応がなされている。		

 は、重点項目。